

# 一 般 質 問 要 綱

令和3年第9回12月定例会

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者   | 質問事項及び質問要旨  |
|-----|------|---------|---|
| 1   | 21   | 山 口 和 男 | <p>1 コロナワクチン3回目の接種について</p> <p>(1) 第5波が沈静化した理由は、ワクチン接種の効用や児玉東大教授のウイルス自壊説等があるようですが、いかがか伺います。</p> <p>(2) 3回目の接種の有効性と必要性を伺います。</p> <p>(3) 接種方法と市民への周知は、副反應對応で2回目接種後の教訓を伺います。</p>  |
|     |      |         | <p>2 職員の退職と充足について</p> <p>(1) 来春、部課長を含め16名余の職員が退職します。その補充に対する考え方を伺います。また、これに伴う退職手当増加の対応策も伺います。</p> <p>(2) 定年延長による人件費の推移の見込みを伺います。</p>  |
|     |      |         | <p>3 財政について</p> <p>(1) 財政調整基金残高の推移について伺います。市長就任の平成29年度末は3,159,773千円でした。以降、平成30年度末は2,904,511千円、令和元年度末は2,655,506千円、令和2年度末は1,962,778千円、令和3年度9月臨時会時点では13億7,300万円で57%も減少した要因と対策を伺います。</p> <p>(2) 実質公債費率及び各年度の市債バランスに留意し、市債を財源とする建設事業の事業量を適切に管理すると言われるが、具体策を伺います。</p> <p>(3) 市税の推移を市長就任以降、年度別に伺います。</p> |
|     |      |         | <p>4 カーボンニュートラル宣言について</p> <p>有限会社大和川ファームの穀物乾燥調整施設稼働工事の完成が待たれ、来季稼働時に再生可能エネルギーを使用する予定と聞き及んでおりますが、これはカーボンニュートラル宣言の喜多方市では画期的で、1グループで電力の生産と消費を賄う循環型経済システムの先駆的取組として評価をし、関係者に敬意を表するものであります。市でも公共施設にそれを率先して実施すべきと考えるが、伺います。</p>   |
|     |      |         | <p>5 入札について</p> <p>会津ジャーナル2021年11月20日第21号に「頻発する同額・くじ引き落札ー受注調整、官製談合が常態化！？ー」との記事が掲載されましたが、どのように受け止めているのか伺います。</p>   |
| 2   | 13   | 齋 藤 仁 一 | <p>1 基幹産業である農業政策について</p> <p>(1) 鳥獣害の被害による農地耕作を諦めた実態はどうなっているのか伺いたい。</p> <p>(2) それらの対策として、市は電気柵設置を進めているが、維持管理の大変さなどから設置できない地区もあるが、市として新たな対策を講ずるべきと考えるが、伺いたい。</p> <p>(3) これらの対策として、猟友会や地域再生に取り組む方々と連携活動する地域おこし協力隊の活用も考えられるが、市の対策と対応について伺いたい。</p> <p>(4) 市の多面的機能支払交付金活動組織数及び取組農用地面積、中山</p>            |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質問事項及び質問要旨  |
|-----|------|-------|---|
|     |      |       | <p>間地域等直接支払制度集落協定数と取組農用地面積はどうなっているのか。また、全体の耕地面積に占める割合はどうなっているのか伺いたい。</p> <p>(5) 多面的機能支払交付金活動の中で長寿命化対策を要望した地区及びその金額はいくらになったのか。また、採択になった地区とその金額はいくらになったのか。さらに、交付決定時期を早められないのか伺いたい。</p> <p>(6) (5)の結果を受け、市は今後どのような対策を講じるのか伺いたい。</p> <p>2 医療体制の充実について</p> <p>(1) 地域・家庭医療センターの当初計画した人員体制と今年度までの人員体制はどうなっているのか伺いたい。</p> <p>(2) 地域・家庭医療センターの訪問診療体制と訪問地域の範囲はどうなっているのか。また、今後は訪問地域拡大が課題であるが、市はどう対応するのか伺いたい。</p> <p>(3) 医師及び看護師確保は急務であるが、市はどう対応するのか伺いたい。</p> <p>3 合併効果の検証について</p> <p>(1) 市長は、合併効果の検証をどのような視点で行ったのか伺いたい。</p> <p>(2) その視点ごとの検証の結果、どう判断しているのか伺いたい。</p> <p>(3) 喜多方市総合計画審議会意見書はどのようになっているのか伺いたい。</p> <p>(4) 今後どのような市政運営をするべきと考えているのか伺いたい。</p> |
| 3   | 3    | 山口文章  | <p>1 消防団について</p> <p>消防団の現状は、全国的に団員数の減少や団員の平均年齢の上昇、被雇用者の団員の増加など、団員確保に苦慮する地区や、職業形態の変化で災害時の対応ができないという課題が増えています。様々な課題を抱えているなかで、本市では、現在消防団再編に取り組んでいます。次年度から、新たな消防団（機能別消防団を含む）で活動できる計画ではありますが、現在の再編の進行状況など、消防団及び当局の抱える課題について、市の考えを伺います。</p> <p>(1) 消防団再編の検討について</p> <p>ア 現在までの進捗状況と今後のスケジュールについて伺います。</p> <p>イ 組織の変更について伺います。</p> <p>ウ 消防団員数の変更について伺います。</p> <p>エ 消防団機材の配備見直しについて伺います。</p> <p>(2) 機能別消防団の検討について</p> <p>ア 消防団でどのような位置付け、役割となっているか伺います。</p> <p>イ 採用条件や報酬について伺います。</p> <p>ウ 活動範囲について伺います。</p> <p>(3) 今後の消防団について</p>  |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質問事項及び質問要旨  |
|-----|------|-------|---|
|     |      |       | <p>ア 団員の処遇改善について、考えを伺います。</p> <p>イ 団員退職金の現在の制度について伺います。</p> <p>ウ 今後の消防団行事について伺います。</p> <p>エ 市当局の人員配置について伺います。</p> <p>2 市内道路管理について<br/>本市の道路管理は、画像投稿システムや当局窓口等で対応していますが、各行政区からの道路の補修要望が多くあります。その現状を市としてどのように考え対応しているのか、今後の道路維持管理について伺います。</p> <p>(1) 道路の舗装補修について<br/>ア 各行政区からの要望に対しての当局の対応について伺います。<br/>イ 行政懇談会における舗装補修の要望件数（過去3年間）に対する実施件数について伺います。<br/>ウ 舗装補修の方法について伺います。<br/>エ 市内の公共施設、観光名所周辺の道路管理状況について伺います。</p>   |
| 4   | 6    | 小島 雄一 | <p>1 新型コロナウイルス感染症対策の今後について<br/>感染第5波がワクチンの効果もあってか、不思議なほどの沈静化を見せている。ウイルスの変異が非常に早い性質から、必ず近い将来に第6波の到来が予想される。この時期にこれまでの諸対策を振り返り反省しつつ、新たな施策を取るべきである。世界史にあるパンデミック、黒死病（ペスト）、スペイン風邪などはその後に大きな社会的変革をもたらしている。コロナ禍によってもたらされる社会の変革を的確に捉え、時の流れの先を読んだ諸政策を研究し、実施すべきである。そこで伺う。</p> <p>(1) これまで本市のとってきた諸対策の反省を伺う。</p> <p>(2) 新型コロナパンデミックによる社会の変化をどのように捉えているのか、市長の考えを伺う。</p> <p>(3) 令和4年度の予算編成にどのように取り入れるのか伺う。</p> <p>2 住民自治制度について<br/>住民自治の充実を本市の重要施策として取り組んでいることは高く評価するところだが、実態はまだ緒に就いたばかりである。現状と新年度の方針を伺う。</p> <p>(1) こまがた元気会の現状と今後の方針を伺う。</p> <p>(2) 新たな自治組織立ち上げの見通しを伺う。</p> <p>(3) 自治組織立ち上げのためのノウハウや、補助体制を確立すべきと思うが、考えを伺う。</p> |
| 5   | 20   | 佐原 正秀 | <p>1 創意工夫で成果を上げる子育て支援について<br/>家庭や地域を取り巻く環境が大きく変化する中で、平成27年度に子ども・子育て支援新制度が創設されました。同制度では、市町村は地域の子育て家庭の状況や、子育て支援へのニーズをしっかりと把握することが明記されています。さらに、平成28年度には仕事・子育て</p>  |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質問事項及び質問要旨   |
|-----|------|-------|--|
|     |      |       | <p>両立支援事業も創設され、地域ニーズに基づいた子育て支援のほか、企業の積極的な参画も求められており、地域における子育て支援の現状と課題について、また、小規模保育施設の導入による待機児童対策、子どもの健やかな発達・発育につなげる検診の実施、いじめ問題への積極的なアプローチなど、具体的かつ効果的な支援を進めることが求められますが、これらの対策についてお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子育て環境の現状と課題について</li> <li>(2) 取組と子育て支援の新たな可能性について</li> <li>(3) 新型コロナウイルス感染症の中での子育て支援について</li> <li>(4) 5歳児健診の取組について</li> <li>(5) 今後の具体的な取組について</li> <li>(6) 子ども・子育て会議の積極的な運用について</li> </ol> <p>2 多様性を活かした地域づくりについて</p> <p>多様性の地域づくりは、市民に寄り添い、市民の意見やサイレントマジョリティーの声にも耳を傾けて政策に反映するということから、市民と行政が同じ目標に向かってまちづくりを推進する必要性を強く感じるものであります。そのためには、対話と創造、市民主権の実現に向け、具体的取組内容を見える化し、PDCAサイクルを確立し、市民と協働し、着実な進行管理を図ることが重要と考えます。そこで、政策間連携、地域間連携、官民連携などにより、様々な施策を打ち出し、多様性を活かした地域づくりの推進に向けた政策をどう進めるかについてお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 行政と市民が一緒につくる観光アプリについて</li> <li>(2) スマホアプリ活用による若者向け情報発信について</li> <li>(3) マイナンバーなどの対応へのクラウド活用について</li> <li>(4) 見守りコミュニティづくりについて</li> <li>(5) 自治体と教育現場が一体で進める新たなまちづくりについて</li> </ol> <p>3 本市の盛土箇所の実態について</p> <p>静岡県熱海市で発生した大規模土石流を受け、福島県の盛土実態調査で9月22日、県内に673カ所の盛土が確認されたと発表されました。点検箇所は国の要件に基づき抽出し、その内訳については、土砂災害警戒区域、山地災害危険区域、大規模盛土造成地内で形成されておる、開発許可の届出があったのが560カ所、国のデジタル地図の情報を活用して、盛土の可能性があると判断したのが113カ所あり、今後は市町村からの調査要望や住民からの情報提供により、点検箇所が増えるものと言われておりますが、本市における実態についてお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 盛土調査の現状とその対応について</li> <li>(2) 盛土に対するパトロールとその対応について</li> <li>(3) 今後の対策と課題について</li> </ol> |
| 6   | 7    | 渡部一樹  | <p>1 市長の政治姿勢について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 住民自治推進の進捗状況と今後の施策展開の考え方について伺</li> </ol>  |

| 通告順 | 議席番号 | 質問者  | 質問事項及び質問要旨  |
|-----|------|------|---|
|     |      |      | <p>いたい。</p> <p>(2) 行政のデジタル化への取組方針と簡素で効率的な補助事業の在り方について見解を伺いたい。</p> <p>(3) 「活力ある市役所」の取組とその効果、今後の施策展開の考え方について伺いたい。</p> <p>(4) 中心市街地のにぎわい創出支援の実績と今後のまちなか再生について市長の決意を伺いたい。</p> <p>(5) 学校給食の「熱塩加納方式」の全市展開の現状と今後の施策展開の考え方について伺いたい。</p> <p>2 アフターコロナの力強い経済対策について</p> <p>(1) 令和3年度末及び令和4年度に向けた基本的な考え方と対応について伺いたい。</p> <p>(2) プレミアム付商品券発行事業の取組について見解を伺いたい。</p> <p>(3) 教育旅行への補助制度創設について見解を伺いたい。</p>  |
| 7   | 2    | 小澤 誠 | <p>1 喜多方市カーボンニュートラル宣言について</p> <p>(1) 「カーボンニュートラル」とは、どのような状態をいうのか。市はどのようにして実現しようとしているのか。</p> <p>(2) 宣言に基づく実行計画をつくるために</p> <p>ア 市は公共施設、公共事業、自治体業務でどれだけCO<sub>2</sub>を削減できるのかなど、地方自治体自らの脱炭素化に向けた「目標と計画」をどのようにして、いつまでにつくっていくのか。</p> <p>イ また、区域内（喜多方区域内）の脱炭素化の「目標と計画」はどのようにして、いつまでにつくっていくのか。</p> <p>(3) 住民参加の下で、地域の環境と両立した形で再生可能エネルギーが導入できる場所とできない場所を事前に設定（ゾーニング）すべきと思うが、どう考えますか。</p> <p>(4) 実現のために必要な市民・団体・地元企業などへの支援をすべて具体的にすべきと思うが、どのようにする考えなのか。</p> <p>2 ジェンダー平等について</p> <p>(1) 市に「男女共同参画実施計画」という取組があります。</p> <p>ア 今年目標値と実績を明らかにしてください。</p> <p>イ 一生懸命取り組んでいるのは分かりますが、女性登用は必ずしも進んでいないようです。なぜ進まないと思いますか。</p> <p>(2) 働く場でのジェンダー平等</p> <p>ア 市役所で男性の平均給与（非正規を含む）を100とした場合、女性の平均給与（非正規を含む）はいくらか。</p> <p>イ 正規の男性職員数を100とした場合、女性の職員数はいくらか。また、非正規の男性職員数を100とした場合、女性の職員数はいくらか。</p> <p>ウ コロナ禍でケア労働として大切だとされる介護職員、保育士の給与が月額7万円ぐらい労働者平均よりも安いと言われる。政府も改善を検討していると言われるが、喜多方市の実態はどうなっ</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者   | 質問事項及び質問要旨  |
|-----|------|---------|---|
|     |      |         | <p>ているのか、市としての対策は。</p> <p>(3) 「選択的夫婦別姓を認めるべき」という意見に対し、市長は賛成か反対か、端的にお答えください。</p>   |
| 8   | 1    | 矢 吹 哲 哉 | <p>1 新型コロナ対策について</p> <p>(1) 市民生活と地域経済の現状について</p> <p>ア 市民生活の現状について</p> <p>イ 地域経済の現状について</p> <p>(2) 家計を温め、地域経済回復のための施策について</p> <p>ア これまでの市の取組について</p> <p>イ 今後の取組と、直ちに実施するものはあるのか。</p> <p>ウ 緊急対策が必要と考える。財源の確保が課題である。市長は、財源についてどうする考えか伺う。</p> <p>2 子育て支援と地域再生の取組の現状と課題について</p> <p>(1) 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の現状と評価について伺う。</p> <p>ア 現状（各目標項目の到達と目標値）について</p> <p>イ 全体の評価と個別評価について</p> <p>(2) 第2期総合戦略（2020年度～2024年度）の目標値と具体的取組について</p> <p>ア 第2期総合戦略の目標値について</p> <p>イ 目標達成のための具体的施策について</p> <p>ウ 施策実施のための市の財源確保について</p>  |
| 9   | 5    | 上野利一郎   | <p>1 有害獣の被害に係る農地保全対策について</p> <p>昨年令和2年度は有害獣の出没が顕著で、特に熊、イノシシの出没が多く、捕獲数では一昨年比で3倍もの個体数を捕獲している。また、全市的に農作物への被害が広がり、被害額も730万円に達した。本市では令和3年度より有害鳥獣対策室を設置し、電気柵の購入補助枠も拡大され、1,444万円の予算のうち、8月末で90パーセントが執行されるなど、侵入防止対策も進んでいる。しかし、一方ではイノシシの農地への進入により、畦畔・農道・農業水路が壊れるなど、農作業への影響も見受けられている。そこで、以下の2点について伺います。</p> <p>(1) イノシシによる農地・畦畔等の被害と復旧作業の現状について</p> <p>ア イノシシの掘り起こしによる農地・畦畔等への被害については、どのように報告されているのか伺います。</p> <p>イ 被害後の復旧作業については、どのような現状なのか伺います。</p> <p>(2) 復旧支援に関する市の姿勢について</p> <p>ア 畦畔が崩れるなど、営農に支障のある被害に対して支援している自治体も見られるが、本市の考え方を伺います。</p> <p>イ 農道・水路等の復旧工事に関して、どのような支援をすべきか伺います。</p> <p>ウ 営農活動が今後も見込まれる農地の復旧工事を、個人や地域で</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質問事項及び質問要旨   |
|-----|------|-------|--|
|     |      |       | <p>行う場合の材料支給（砂・木杭等）支援の考え方についても伺います。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症に係る中小事業者への経済対策について<br/>         これまで、令和3年度末までの短期間の経済対策については示されたが、以下の2点について伺います。</p> <p>(1) 消費喚起対策事業について<br/>         ア 市内経済団体からは中小事業者への支援拡充が要望されていたが、11月8日の全員協議会で説明されたような消費喚起対策事業になった。経済団体との協議等も含め、このような事業に決定した経過について伺います。</p> <p>(2) 税制面での見返り施策について<br/>         ア 令和2年度、3年度のコロナ禍で、市全体での主な観光誘客事業が中止となり、自主的に休業・受入制限等をしてきた宿泊業やサービス業に関しても、長期的に売上げが立たない状態が続いた。コロナ対策関連の融資金も来年度から返済が始まることから、中小事業者を対象とした市法人税や固定資産税の猶予・軽減措置もさらに図るべきと考えるが、市の考え方を伺います。</p> <p>3 災害情報連携システム再構築事業について<br/>         令和4年11月のアナログ無線方式による災害情報放送の切替期限があと1年に迫り、V-Low方式からコミュニティエフエム方式への移行準備作業が進められている。そこで、以下の4点について伺います。</p> <p>(1) 各地区で開催された秋の行政懇談会では、本事業に関してどのような質疑があったのか伺います。</p> <p>(2) 受信端末や放送機器等の導入や試験に際し、昨今の半導体チップの不足等、コロナ禍の影響を受けないのか伺います。</p> <p>(3) コミュニティエフエム方式による、放送開始までの進捗について伺います。</p> <p>(4) V-Low方式で投資した事業費に対する、補償金の交渉状況について伺います。</p> |
| 10  | 9    | 菊地とも子 | <p>1 学校給食事業について</p> <p>(1) 学校給食費負担軽減事業について</p> <p>(2) 学校給食費の未納について</p> <p>(3) 公会計化の導入について</p> <p>2 喜多方市小田付伝統的建造物群保存地区について</p> <p>(1) 小田付伝統的建造物群保存地区の取組について</p> <p>(2) 今後の取組について</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について</p> <p>(1) 消費喚起対策について</p>   |
| 11  | 4    | 十二村秀孝 | <p>1 直播栽培新技術（リゾケアXL）の推進について<br/>         令和3年産の稲作は、新型コロナウイルス感染症の影響により、米の消費が改善されず米価は大きく下落しました。今後も米価の大幅な</p>   |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質問事項及び質問要旨   |
|-----|------|-------|--|
|     |      |       | <p>上昇は期待できない中、水田農業を維持していくためには収益が確保できる稲作の確立が求められます。そこで、次の2点について伺います。</p> <p>(1) 直播栽培での生産者数、栽培面積の過去3年間の推移について伺います。</p> <p>(2) 収益が確保できる稲作を確立するためには、稲作の低コスト化が重要であり、リゾケアXLによる直播栽培の確立は、誰でも取り組める最も有効な手法と考えるが、市の考えを伺います。</p> <p>2 アスパラガスの振興について</p> <p>喜多方市の主要園芸品目に位置付けられているアスパラガスは年々生産者、出荷量が減少傾向にあります。今後、この状況を打開しなければ産地として存続していくことは困難であると危惧しています。そこで、次の3点について伺います。</p> <p>(1) 生産者数、出荷量、販売額、栽培面積、施設面積、施設化率の過去3年間の推移について伺います。</p> <p>(2) これまでのアスパラガスの振興に対する支援策について、どのように総括しているのか伺います。</p> <p>(3) 他の主要園芸品目と比べて減少している原因をどのように捉えているのか伺います。</p>   |
| 12  | 8    | 蛭川靖弘  | <p>1 本市の再生可能エネルギーへの転換について</p> <p>10月31日から開催された国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)で、日本は2019年のCOP25に引き続き、2回連続で地球温暖化対策に後ろ向きな国におくられる「化石賞」を受賞しました。</p> <p>2015年に開催されたCOP21、いわゆるパリ協定では、1997年に開催されたCOP3での京都議定書の成立以降、長らく我が国が主張してきた「全ての国による取組」が実現されたにも関わらず、まったく不名誉な受賞となりました。</p> <p>また、COP26が衆議院選挙と期日が重なったことで主要な会議に日本は遅参、もしくは欠席しており、こと気候変動に関しては国際社会から取り残されたかたちになってしまっています。</p> <p>一方で福島県は、2011年3月の東京電力原子力発電所の重大な事故を受け、2040年までに県内エネルギー需要の100%を再生可能エネルギーで生み出すこととし「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン」を策定して、その実現に向かって拠点整備を進めているところです。</p> <p>本市では、9月16日に2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル宣言」を行い、全ての市民が力を合わせ、社会全体で取り組むとした中で、脱炭素社会の構築を目指し、市全体で再生可能エネルギーの利用拡大に取り組むとしています。</p> <p>私は「化石賞」を受賞した国の音頭ではなく、不幸な原発の事故の被害にあった福島からこそ再生可能エネルギーへの転換を進め、他の</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質問事項及び質問要旨  |
|-----|------|-------|---|
|     |      |       | <p>自治体への手本となるべきと考えます。そこで、以下の点について質します。</p> <p>(1) 福島県で進めている「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン」及び、本市の「カーボンニュートラル宣言」を実現するためには、現在本市が進めている家庭用太陽光発電に対する補助のような小さな取組ではなく、抜本的な政策が必要であると考え、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 県内のエネルギー需要の100%を再生可能エネルギーで生み出すということは、言い換えれば県内、市内で使用する電力の100%を再生可能エネルギーで賄うことに他ならないと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 今後、本市がカーボンニュートラルを実現するために実施する具体的な施策について伺う。また、その実施時期についても伺う。</p> <p>(4) 本市の「カーボンニュートラル宣言」では、二酸化炭素排出量削減の数値目標を「(1) 長期目標 2050年までに 二酸化炭素排出量実質ゼロ (2) 中期目標 2030年までに 二酸化炭素排出量を46%削減 基準である2013年の本市の二酸化炭素排出量「361千t-CO<sub>2</sub>」を2030年までに46%削減して「195千t-CO<sub>2</sub>」とします。」としているが、具体的な手段までは言及していない。まもなく2022年が到来し中期目標まで8年を切るという中、年度単位の到達目標を設定して、それをチェックする体制を早急に構築すべきと考えるが、現状の体制と今後の計画について伺う。</p> <p>また、福島県は今年8月に同じ目標を50%削減としているが、本市が46%とした理由を伺う。</p> <p>(5) 市内の再生可能エネルギーへの転換を実現するために、まずは現時点(2021年度)、もしくは2013年の市内のエネルギー受給の状況を明確に把握する必要があると考えるが、以下の点について伺う。</p> <p>ア 喜多方市内の年間(2020年度)の電力消費量(kWh)概算、及びその消費量の中で再生可能エネルギーが占める割合</p> <p>イ 本庁舎、支所、小中学校、そのほか市で管理している施設の年間の電力消費量(kWh)合計、及びその消費量の中で再生可能エネルギーが占める割合</p> <p>ウ 本庁舎、支所、小中学校、そのほか市で管理している施設が契約している電力会社の内訳、及び個々の施設の年間(2020年度)支払い金額</p> <p>(6) 国では来年4月から、脱炭素先行地域の募集を始める計画だが、本市も先行地域に手をあげて積極的に脱炭素社会の実現に向かうべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(7) 「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン」及び本市の「カーボンニュートラル宣言」を実現するためには、行政が率先して使用する電力を再生可能エネルギーに転換し、その上で市民に訴えるべき</p> |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質問事項及び質問要旨   |
|-----|------|-------|--|
|     |      |       | <p>と考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>2 本市の学校給食を熱塩加納方式へ転換することについての進捗<br/>市長公約である「熱塩加納方式の学校給食」を市内の小中学校へ実施することについての進捗について伺います。</p> <p>昨年3月議会で質した際に、市長は「熱塩加納方式の学校給食」の定義について、単に地産地消率を高めるだけではなく、過去に熱塩小学校、加納小学校が実施してきた様々な特徴を再現することだと提言した私に「その通りである」と答弁しました。そして、私は自身で調査した17項目の「熱塩加納方式の学校給食の特徴」のペーパーを教育委員会に提出しています。</p> <p>あれから1年半が経過する中で、以下の17項目についてどれだけの進捗があったのか伺います。項目一つずつについて、進捗、課題、今後の計画について答弁をお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 週5回の米飯給食</li> <li>(2) 地元産の米（さゆり米）、野菜</li> <li>(3) 家庭菜園の延長、おすそ分け</li> <li>(4) こんだてと一緒にあった計画栽培</li> <li>(5) 無化学肥料、無農薬栽培</li> <li>(6) 肥料は「自家製のボカシ」または「販売されている有機肥料」</li> <li>(7) 土壌改良は堆肥、天然ミネラル肥料</li> <li>(8) 農薬は「使用しないが原則」だが、防虫対策として1回のみDDVP乳化剤の使用はやむなしとする</li> <li>(9) 除草剤の禁止、やむなく使用した場合は調理責任者への申告が必要</li> <li>(10) 調理の際に化学調味料を使わない</li> <li>(11) 調理にひと手間をかける。（美味しさ、コストダウン）例えば、しょうゆ洗い、酢洗い、手作りふりかけ等</li> <li>(12) 米は八分付（健康増進のため）</li> <li>(13) 黒米、キビ、麦などの雑穀米を使用する（たまに）</li> <li>(14) おばあちゃんの味、レシピ集から郷土料理を提供</li> <li>(15) ハレの日の行事給食</li> <li>(16) まごころ野菜の会の総会で野菜の価格を決定し、その価格は1年間共通</li> <li>(17) 野菜を廉価で仕入れるため、その差額を安心安全な調味料の購入にあてる</li> </ol> <p>3 本市の現住人口について<br/>昨年実施された国勢調査の速報値が本年7月に発表され、本市の現住人口は令和2年11月現在で44,792人となりました。この数値は、前月の10月の住民基本台帳上の人口、45,797人よりおよそ1,000人減っています。</p> <p>このことについて、以下の点を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 11月30日に国勢調査の確定値が発表されることとなっている</li> </ol> |

| 通告順 | 議席番号 | 質 問 者 | 質問事項及び質問要旨  |
|-----|------|-------|---|
|     |      |       | <p>が、速報値の段階で住民基本台帳との差が1,000人、1年で200人ものずれが発生した要因について伺う。</p> <p>(2) 国政調査の確定値が仮に速報値と誤差のない結果だった場合、本市の現住人口は今月で44,000人を切るペースで減少していることとなり、これは一昨年第2版が出された喜多方市長期人口ビジョンの将来展望人口はもとより、国立社会保障・人口問題研究所で予測している基準人口をも大きく下回ることになる。</p> <p>このことを受けて、本市の人口減少については、喜多方市長期人口ビジョンの大幅な見直しが必要なだけでなく、普通交付税の基準財政需要額にも大きく影響し、中期財政計画にも影響が出てくると考えるが、市長の見解を伺う。</p>  |
| 13  | 18   | 伊藤 弘明 | <p>1 会津縦貫北道路について</p> <p>(1) 平成8年度に決定された会津縦貫北道路に関する都市計画決定をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 会津若松市と喜多方市を結ぶ重要な幹線道路としての利便性向上のために何が必要であるのか。</p> <p>(3) 会津縦貫道路のポテンシャルを上げるために、高規格道路の喜多方・米沢間を開通させ、東北中央道に連結させて、北東北から宇都宮までの東日本中央幹線道路を実現させていくべきと考えるがいかがか。</p> <p>(4) 現在の諸般の状況を考慮する中で、どのような活動が求められていくのか。</p> <p>2 ふくしま会津牛について</p> <p>(1) 令和3年度の事業「もっと美味しい喜多方」プロジェクト事業について、どのように総括するのか。</p> <p>(2) 来年度に向けて、どのような展開を考えているのか。</p> |
| 14  | 14   | 田中 雅人 | <p>1 本市集会施設の水洗化について</p> <p>地域の高齢化とともに、住宅でも集会所でもトイレの洋式化が望まれている。本市の支援が必要ではないか伺う。</p> <p>(1) 旧5地区ごとの水洗化（洋式化）の割合を伺う。</p> <p>2 特別職（三役）の退職金について</p> <p>(1) 支給の根拠となる制度内容を伺う。</p> <p>(2) 直近の支給状況を伺う。</p> <p>(3) 報酬等審議会の開催状況と結果について伺う。</p>   |
| 15  | 22   | 渡部 勇一 | <p>※ 通告を取り下げました。</p>  |